

令和7年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和 8 年 4 月 17 日

団体所在地 呉市押込西平町 29-84

団体の名称 学校法人 多幾山学園

職・氏名 理事長 水原 紫乃

(施設名 焼山こぼと幼稚園・認定こども園 焼山こぼと)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ◆ 外遊び
- ◆ 泥んこ遊び(園内)
- ◆ 泥んこ遊び(園外)
- ◆ お散歩ごっこ
- ◆ 矢車を使って風を感じる遊び
- ◆ さくらんぼを取りに行こう！

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ◆ 外遊び
- ◆ 泥んこ遊び
- ◆ 水遊び・プール遊び
- ◆ 飯盒炊飯
- ◆ そうめん流し

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ◆ 外遊び
- ◆ 泥んこ遊び・型抜き遊び
- ◆ お散歩
- ◆ 焼き芋大会
- ◆ 落ち葉集め

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ◆ 外遊び
- ◆ 砂遊び
- ◆ 山で落ち葉遊び
- ◆ 雪遊び

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

（写真）



（エピソード記述）

1, 2 歳児さんが、近所の田んぼに遊びに行った。
春先で水が少し入っている田んぼの中を裸足でかけまわり、水や泥の感触を楽しんだり、浅いところ深いところを感じながら遊ぶ姿が見られた。

1 歳児の子は、田んぼの中で水に浮いている草をみつけてつかんでまた、水の上に落としてみたり、他の草をつかんで水にいれたり、夢中になって遊ぶ姿がみられた。

遊んでいたところに、蛙がでてきてつかまえようと皆でおいかけていた。蛙を捕まえるためなら、水の中を今度は走り回って、お尻が泥につかっても気する様子もなく遊び込んでいた

【7月～9月】

（写真）



（エピソード記述）

年長さんは飯盒炊飯を行った

米を洗う、飯盒に入れるところを自分たちでやって、水をいれてカマドまで持ってきた。水の量を調整していると「どうして水の量が多いとか少ないとかわかるの？」と質問する子がいたり、火に直接かけられた飯盒をみて「焦げないの?」「あっ、水がはいっとるけん、焦げんのんじゃ!」と話す子もいて、自分たちなりに、ご飯が炊ける過程を想像しているようだった。

実際に真っ黒な飯盒の蓋をあけて、ご飯を見たときには目を丸くして驚いて「おいしそう!」と言っていた

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

地域のおじいちゃんおばあちゃん宅で、芋掘り体験をさせて頂いた。斜面を登って芋畑に入ると、芋の他にもピーマンなどの実がなっていて、「食べれる？」と聞いたり、土の中から芋がでてくると「あった！」と一生懸命引っ張ったりしていた。土の中に芋があるのがわかると、見える根っこのような物を次々と引っ張る様子があり、また、途中で虫がでてくると、つかんで「これなに？」と聞く様子があった。また、地域のおじいちゃんおばあちゃんにもたくさん話をしていた

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

山に落ち葉がたまって、遊び初めていた。最初は上に向かって撒いたりする様子があったが、集めていくと、大きな山になったところから、ヒントを得て、もっとたくさんの山にしよう！とどんどん色々な場所から落ち葉を集め始めた。ふかふかになった落ち葉をみて「跳べるかな？」と少し高いところから飛び降りて「痛くない！」「僕もやらせて！」と楽しく遊んでいると、だんだん、落ち葉が散らばってきて、「ちょっとまって！集めるけん！」とみんなでどうやったら楽しむことができるかを考えながら遊んでいた

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について
自然の保育に関する研修会などに参加
- ・ 地域との関わりについて
野菜作りなど、地域の方にも協力して頂き、こどもたちとの関わりを増やしていきたい
- ・ 保護者との関わりについて
泥んこ遊び・水遊び等、自然の中での活動を見て頂く機会を設け、自然の中での遊びを保護者の方にも知って頂く
- ・ その他

*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

U R L	
-------	--